

平成 21 年度 高大連携・学問探検ゼミの成果ポスター発表会を開催しました

本学経済学部が選定された GP「学問探検ゼミを核とした高大接続教育」の中心事業である学問探検ゼミの成果ポスター発表会を 2010 年 2 月 2 日(火)に大分大学経済学部 202 号教室にて開催しました。当日は遅い時間からの開始でしたが、県内の高等学校 3 校から生徒 112 名、本学経済学部 2 年生・院生 14 名、高大の教員 24 名、外部評価委員 5 名、合計 155 名もの多くの参加者がありました。

平成 20 年後期に開講した本ゼミには、大分雄城台高校、大分南高校、大分鶴崎高校の 3 校から 11 名の高校生が参加し、経済学部の 4 つのゼミにわかれて実施されましたが、同発表会では、その中の一つである宮町ゼミ生による成果報告が行われました。宮町ゼミには、大分雄城台高校生 5 名と本学経済学部 2 年生 12 名の参加があり、宮町学長補佐ら高大の教員 4 名が指導し、本学経済学研究科院生 2 名がサポートに当たりました。

当日は最初に宮町学長補佐から学問探検ゼミの目的が説明された後、グループごとに発表が行われました。発表のテーマは本学経済学部の 3 つの学科（経済・経営システム・地域システム）での研究内容に対応する 3 テーマ「企業と地域社会」、「農村の発展と若者」、「EU の発展とアジア地域統合」に、「九州の方言」というユニークな報告を加えた計 4 つの報告が実施されました。なお、報告のテーマはそれぞれグループ毎にゼミ生が話し合って選んだものです。

発表後には各グループが報告ポスターとともにそれぞれの場所に陣取り、会場に集まった他の生徒や教員との間で直接対話による質疑応答を行いました。来場者数に比べ会場が狭かったため、当初はやや堅いムードでしたが、場が和むにつれて活発なやりとりが行われました。

つづいて行われた閉会行事において宮町学長補佐から大分雄城台高校の受講生に修了証書の授与が行われ、最後に甲斐特任教授（高大接続コーディネーター）から、次年度の「学問探検ゼミ」の紹介が行われるとともに、発表会参加を通じて、学ぶことの楽しさの一端を体験して欲しかった旨の本取組みの意義の確認がなされ、盛況のうちに閉会となりました。

来場した高校生に対するアンケート結果によれば、「発表内容は興味を持てる」（97%）、「班別の質疑応答は良かった」（87%）、「総合的に判断して今日の発表会は良かった」（98%）、「機会があれば自分も参加したい」（76%）との積極的な評価が得られました。

